



家庭科授業での 保育体験実習



今年度も2、3年生家庭科授業の一環として「アトリオとねやま保育園」と「とねやまこども園」にて「保育園における保育の現状を見学し、乳幼児の発達段階を観察する」・「実際に乳幼児と触れあうことで理解を深め、保育に関する関心を高める」を目的として、保育体験実習を9月～11月に行いました。



【参加生徒の感想】

- ・先生の行動の注意深さや気遣いがとても勉強になった。
- ・小さい頃の思い出は、たくさんの大人たちが守ってくれていたのだと分かった。
- ・1日中実習したかった。
- ・保育士になりたい気持ちがより強くなりました。
- ・もう少し積極的に触れ合えば良かった。・保育士さんは体力が必要。
- ・分からないことがあると自分を頼ってくれたことがとても嬉しかった。
- ・将来子どもに接する仕事に就きたいので、この経験を生かしたい。
- ・手伝った方がいいのか、助けしないで自分で出来るように誘導した方がいいのか、難しかった。
- ・先生は子供に考えさせたり、自分の意見が出せるように工夫していて勉強になった。
- ・2時間授業があつという間で4時間目も実習したかった。



O
A
D
D
D



3年生は人形劇「サンタさんのおとしもの」と歌「しあわせならてをたたこう」をしました。



保育体験学習 「赤ちゃん先生クラス」

「赤ちゃんとその母親との触れ合いから『親になるということ』を体験し、学ぶ」・「育児の尊さ・大変さ、ワーク・ライフ・バランスを視野に入れライフプランを具体的に考える」を目的に今年度初めて2年生家庭科授業において地域から赤ちゃんとお母さん方に来校いただき、「赤ちゃん先生クラス」を実施しました。



【参加生徒の感想】・子育てのリアルな話を聞き、可愛いだけでなく母親自身の時間がない等、“夫婦での支え合い”も大切だと思った。 ・育ててくれた親に感謝。

- ・赤ちゃんという存在だけで元気になれる、頑張れるって赤ちゃんにとっても親にとっても素敵なことだな。
- ・パートナーの協力が必要。
- ・赤ちゃんの世話は大変だけど、それ以上に幸せや嬉しいことがあることが分かった。
- ・子育てでどれだけ疲れて大変でも、それを癒してくれるのも子どもなんだ。
- ・赤ちゃんに触れ合う機会がなかったので、貴重な体験ができた。
- ・これからは赤ちゃんが泣いてたとしても温かい目で見る！
- ・赤ちゃんに対する接し方やお母さんの大変さが分かった。

